

N8103-64 ディスクアレイコントローラ(A)

インストール手順書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い求めいただきまして、ありがとうございます。

このインストール手順書では、N8103-64 ディスクアレイコントローラ(A)に関連する下記ソフトウェアのインストール、アップデート手順について説明します。

- ? ドライバ
- ? ESMPRO/ServerManager、ServerAgent
- ? Power Console Plus
- ? 電源制御抑止ドライバ

本インストール手順書の適用範囲は下記の通りです。

Express5800シリーズに添付されているEXPRESSBUILDERのバージョン	適用範囲
Version 3.088a-N以前の場合	本インストール手順書の適用範囲です。本書を参照し関連ソフトウェアのインストールを実施願います。
Version 3.088b-N以降の場合	基本処理装置に添付されている「ユーザズガイド」を参照し、関連ソフトウェアのインストールを実施願います。

注1) :任意のアルファベットが入ります

本手順書によるインストール作業を始める前に、必ずEXPRESSBUILDER CD-ROM媒体に明記されたバージョンをご確認願います。

本インストール手順書で説明するソフトウェアは、以下の製品に対応しています。

なお、とくに記述のない限り、次の省略形式を使用します。

省略形式	製品名
Windows NT 4.0	Microsoft [®] Windows NT [®] Server 4.0 Microsoft [®] Windows NT [®] Workstation 4.0 Microsoft [®] Windows NT [®] Server 4.0 Enterprise Edition
TSE	Microsoft [®] Windows NT [®] Server 4.0 Terminal Server Edition
SBS	Microsoft [®] BackOffice [®] Small Business Server Version 4.5
Windows 2000	Microsoft [®] Windows [®] 2000 Professional Microsoft [®] Windows [®] 2000 Server Microsoft [®] Windows [®] 2000 Advanced Server

AMI、MegaRAID、Power Console Plus[™] は、米国 American Megatrends Inc の登録商標です。

Microsoft、Windows NT、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

ESMPRO[®] は、日本電気株式会社の登録商標です。

EXPRESSBUILDER は、日本電気株式会社の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe System Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

目次

第1章	インストール手順	6
1.1	ブレイインストール	7
1.2	カスタムインストール	8
1.3	マニュアルセットアップ	9
1.4	シームレスセットアップ	11
1.5	N8103-64を新規に追加する場合	13
1.6	N8103-64と他アレイボードが混在する場合	15
第2章	Windows 2000 / Windows NT 4.0 ドライバのインストール	18
2.1	Windows NT 4.0でのドライバのインストール	18
2.1.1	シームレスセットアップ	18
2.1.2	マニュアルセットアップ	18
2.1.3	ドライバの追加インストール	20
2.2	Windows 2000でのドライバのインストール	23
2.2.1	シームレスセットアップ	23
2.2.2	マニュアルセットアップ	23
2.2.3	ドライバの追加インストール	24
第3章	電源制御抑止ドライバについて	31
3.1	AMI Standby/Hibernation Lockをインストールする前に	31
3.2	AMI Standby/Hibernation Lockのインストール	31
3.3	AMI Standby/Hibernation Lockのアンインストール	31
第4章	Power Console Plusのインストール	32
4.1	Power Console Plusのアップデート手順	33
第5章	ESMPRO/ServerManager、ServerAgentのアップデート	34
5.1	ESMPRO/ServerManagerのインストール	35
5.2	ESMPRO/ServerAgentのインストール	35
5.3	ESMPRO/ServerManagerのアップデート	35
5.4	ESMPRO/ServerAgentのアップデート	36
5.5	ESMPRO/ServerAgentの設定変更	37
5.6	ESMPRO/ServerManagerへのメニュー連携の設定	37
第6章	ESMPRO/ServerManager,ServerAgentによる監視機能	39
6.1	状態監視機能	39
6.1.1	ハードディスク状態監視	39
6.2	ハードディスク予防保守機能	40
6.2.1	S.M.A.R.T.機能による予防保守機能について	41
6.2.2	ハードディスクの交換	43

6.3	バックアップバッテリー監視機能	45
6.4	AMIディスクアレイシステム監視機能の設定変更	46
6.4.1	監視間隔の変更	46
第7章	注意事項	47

第1章 インストール手順

本章では、N8103-64 のドライバ、Power Console Plus、ESMPRO/ServerManager,ServerAgent、電源制御/停止ドライバのインストールの流れについて説明します。

インストール作業を行う前に「第7章 注意事項」を必ずよくお読みください。

インストール作業の流れは、使用する OS、セットアップの種類(新規セットアップ or 増設セットアップ)および、セットアップ開始時の Express サーバの状態により下記のように分かります。

新規セットアップの場合

OS	Express サーバの状態	参照する項目
Windows 2000 Windows NT 4.0	「ビルド・トゥ・オーダー」にてWindows NT 4.0 ブレイインストールモデル を指定し購入した場合	1.1 ブレイインストール
	「ビルド・トゥ・オーダー」にてWindows 2000 カスタムインストールモデル を指定し購入した場合	1.2 カスタムインストール
	ディスクレスモデル を購入した場合。 OSを再インストール(再セットアップ) する場合	1.3 マニュアルセットアップ または 1.4 シームレスセットアップ

増設セットアップの場合

OS	Express サーバの状態	参照する項目
Windows 2000 Windows NT 4.0	今までディスクアレイコントローラを使用していなかったシステムに、N8103-64 を新たに追加する場合	1.5 N8103-64 を新規に追加する場合
	2枚目以降の N8103-64 を追加増設する場合	すでにN8103-64 ディスクアレイコントローラを実装したシステムに、2枚目以降のN8103-64を増設する場合、管理ソフトウェアはそのまま使用できますが、Windows2000ではドライバの再インストールが必要です (NT4は再インストールの必要はありません)。2.2.3ドライバの追加インストール」を参照して下さい。
	N8503-60A/61 を使用中のシステムに、N8103-64 を新たに追加する場合。	1.6 N8103-64と他アレイボードが混在する場合



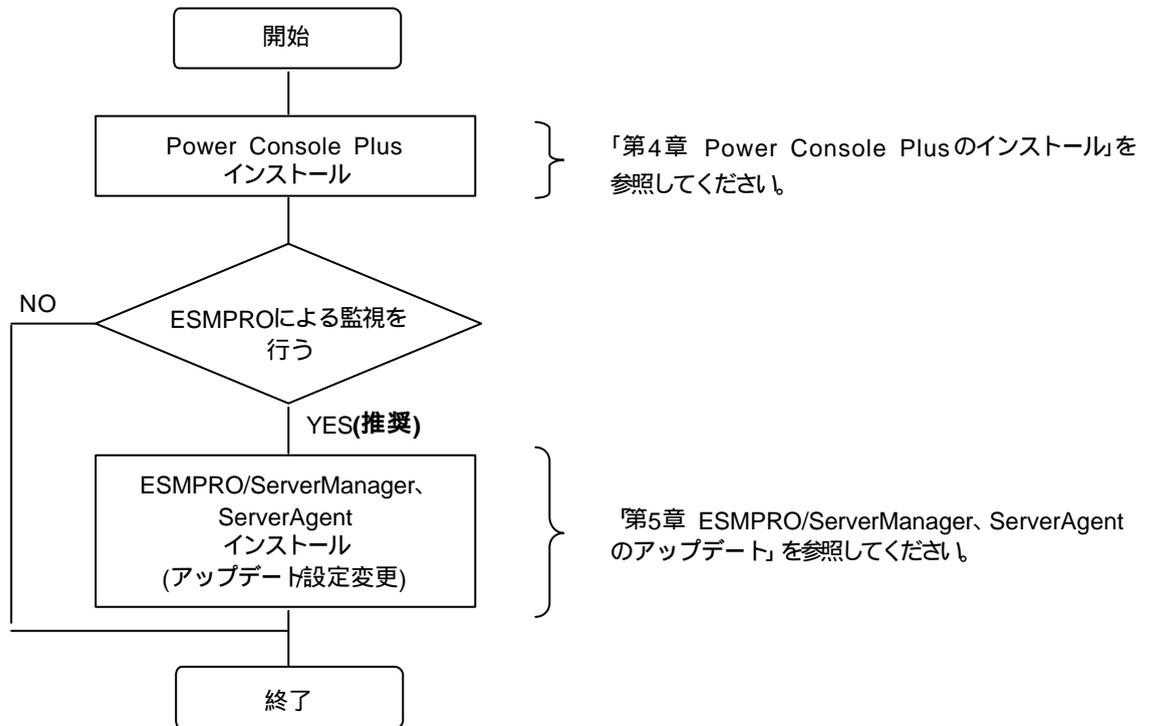
ESMPRO/ServerManager で監視している Express サーバで上記のインストールを行う場合、ESMPRO/ServerManager の「データビューア」は必ず終了してください。N8103-64 ディスクアレイコントローラに対応していない「データビューア」を起動したままインストール作業を実施した場合、アプリケーションエラーなどの問題が発生する可能性があります。

1.1 プレインストール

「ビルド・トゥ・オーダー」にてWindows NT 4.0 **プレインストールモデル**を指定し購入された場合、ドライバはN8103-64 ディスクアレイコントローラに対応したバージョンがインストールされています。ドライバ以外の管理ソフトウェアはインストールされていません。N8103-64 ディスクアレイコントローラを使用するには、次のインストール作業を行ってください。

ソフトウェア	購入直後の状態	インストール作業
ドライバ	インストール済(N8103-64 対応済)	なし
Power Console Plus	未インストール	本製品添付 CD-ROM からインストール
ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent	未インストール	本体装置添付の EXPRESSBUILDER からインストール。 本体装置によっては、N8103-64 に対応するためのアップデートや設定変更が必要です。 詳細は、「第 5 章 ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent のアップデート」を参照してください。

下記手順に従い、各ソフトウェアのインストール、アップデートを行ってください。



1.2 カスタムインストール

「ビルド・トゥ・オーダー」にて Windows 2000 **カスタムインストールモデル**を指定し購入された場合、ドライバ / Power Console Plus / 電源制御抑止ドライバはN8103-64 ディスクアレイコントローラに対応したバージョンがインストールされています。N8103-64 ディスクアレイコントローラを使用するには、次のインストール作業を行ってください。

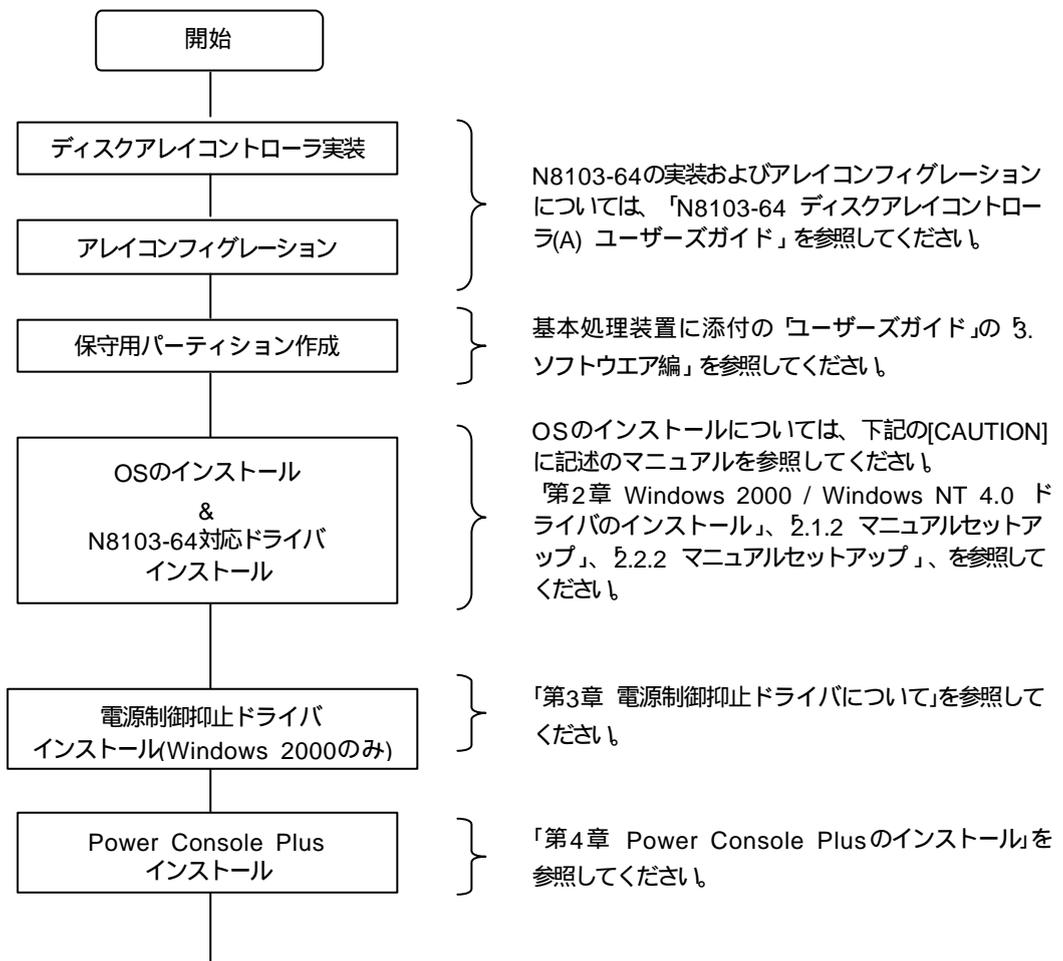
ソフトウェア	購入直後の状態	インストール作業
ドライバ	インストール済(N8103-64 対応済)	なし
Power Console Plus	インストール済	なし
ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent	インストール済	本体装置によっては、N8103-64 に対応するためのアップデートや設定変更が必要です。 詳細は、「第 5 章 ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent のアップデート」を参照してください。
電源制御抑止ドライバ	インストール済	なし

1.3 マニュアルセットアップ

マニュアルセットアップの場合、N8103-64 ディスクアレイコントローラをご利用になるには、次のインストール作業を行う必要があります。

ソフトウェア	インストール作業
ドライバ	ドライバのインストール
Power Console Plus	N8103-64 対応版をインストール
ESMPRO/ServerManager、ServerAgent	EXPRESSBUILDER のソフトウェアをインストール後、N8103-64 対応版にアップデート。本体装置によっては、N8103-64 に対応するためのアップデートや設定変更が必要です。詳細は、「第 5 章 ESMPRO/ServerManager、ServerAgent のアップデート」を参照してください。
電源制御抑止ドライバ (Windows 2000のみ)	本製品添付 CD-ROM からインストール

下記手順に従い、各ソフトウェアのインストール、アップデートを行ってください。





保守用パーティションの作成については、基本処理装置に添付の「ユーザズガイド」で3. ソフトウェア編」 「EXPRESSBUILDER トップメニュー」 「ツールメニュー」に記述されている「保守用パーティションの設定」の説明を参照してください。



OS のインストールについては、下記のマニュアルを参照してください。

Windows 2000 をインストールする場合

「Windows 2000 インストールサブリメントガイド」

Windows NT 4.0 をインストールする場合

「Windows NT 4.0 インストールサブリメントガイド」

Windows NT 4.0 TSE, SBS をインストールする場合

本体添付の「ユーザズガイド」

「インストールサブリメントガイド」は PDF 形式にて提供しています。

「インストールサブリメントガイド」を表示させるためには Adobe Acrobat Reader (Version 4.0 以降) がインストールされていなければなりません。あらかじめマスターコントロールメニューなどからインストールしておいてください。

1.4 シームレスセットアップ

シームレスセットアップの場合、N8103-64 ディスクアレイコントローラを使用するには、次のインストール作業を行う必要があります。シームレスセットアップの「アプリケーション」の選択は、下表の [シームレスセットアップでのインストール] の欄を参考に設定してください。

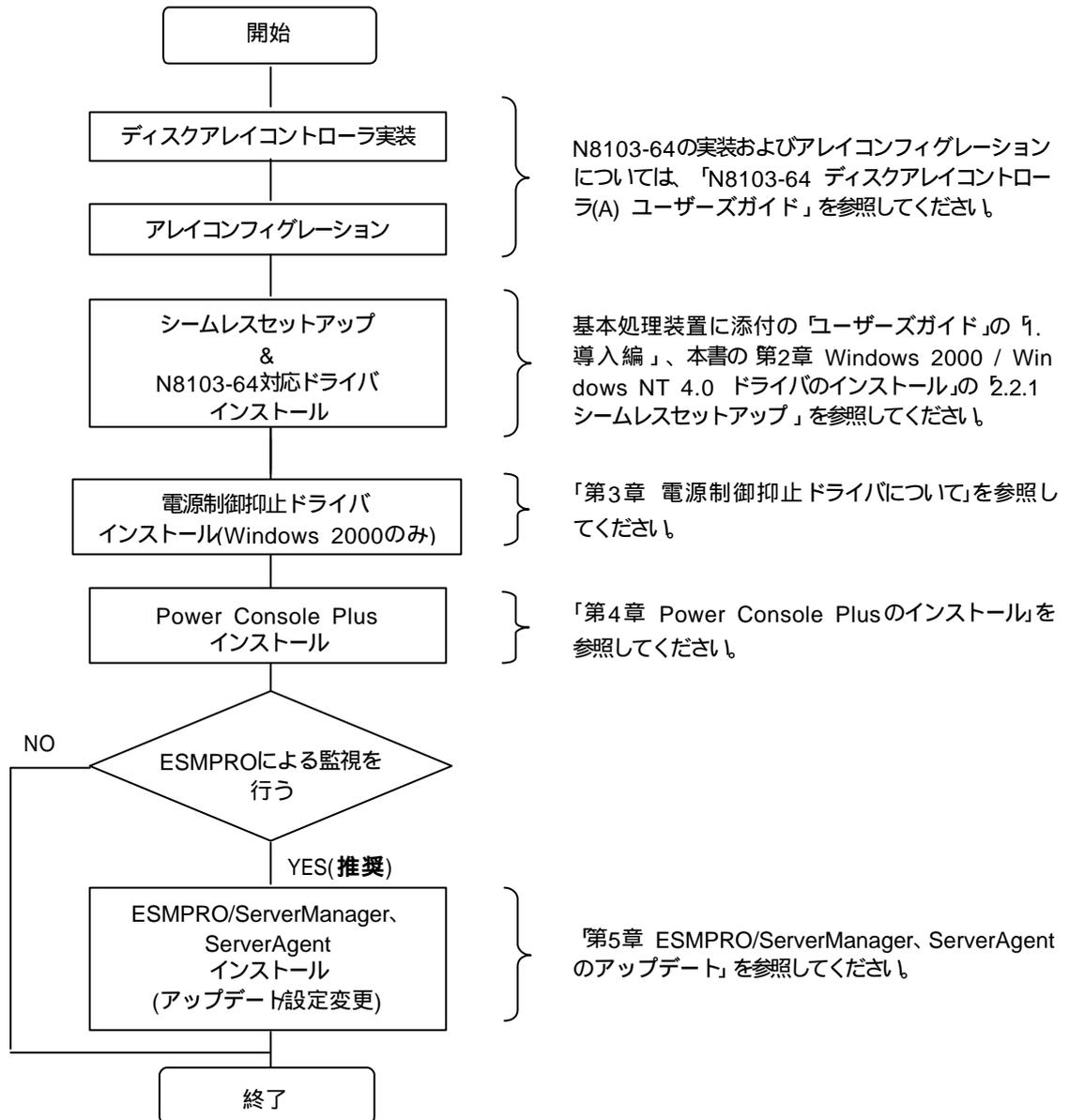


本体添付の EXPRESSBUILDER のバージョンが Rev 2.058 -N (注 2) 以前の場合、シームレスセットアップは行えません。必ず、マニュアルセットアップを行ってください。

ソフトウェア 「」内はシームレスセットアップの表記	シームレスセットアップでの インストール	シームレスセットアップ後のインストール作業
ドライバ 「大容量記憶装置用 OEM-FD の適用」	する (注1)	環境設定(update.exe の実行)
Power Console Plus 「Power Console Plus [Server]、 Power Console Plus [Client]」	しない	本製品添付の CD-ROM からインストール
ESMPRO/ServerManager	シームレスセットアップでは インストールできません	本体装置添付の EXPRESSBUILDER からインストール。 本体装置によっては、N8103-64 に対応するための アップデートや設定変更が必要です。 詳細は、「第 5 章 ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent のアップデート」を参照してください。
ESMPRO/ServerAgent 「ESMPRO/ServerAgent」	する	本体装置によっては、N8103-64 に対応するための アップデートや設定変更が必要です。 詳細は、「第 5 章 ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent のアップデート」を参照してください。
電源制御抑止ドライバ (Windows 2000 のみ)	シームレスセットアップでは インストールできません	本製品添付 CD-ROM からインストール

注1) 本体添付の EXPRESSBUILDER のバージョンが Rev 2.059 -N ~ Rev 2.066 -N の場合のみ、「する」を選択してください。EXPRESSBUILDER Rev 2.067a-N 以降のバージョンでは、自動的に N8103-64 ディスクアレイコントローラに対応したドライバがインストールされます。(には任意のアルファベットが入ります)

下記手順に従い、各ソフトウェアのインストール、アップデートを行ってください。

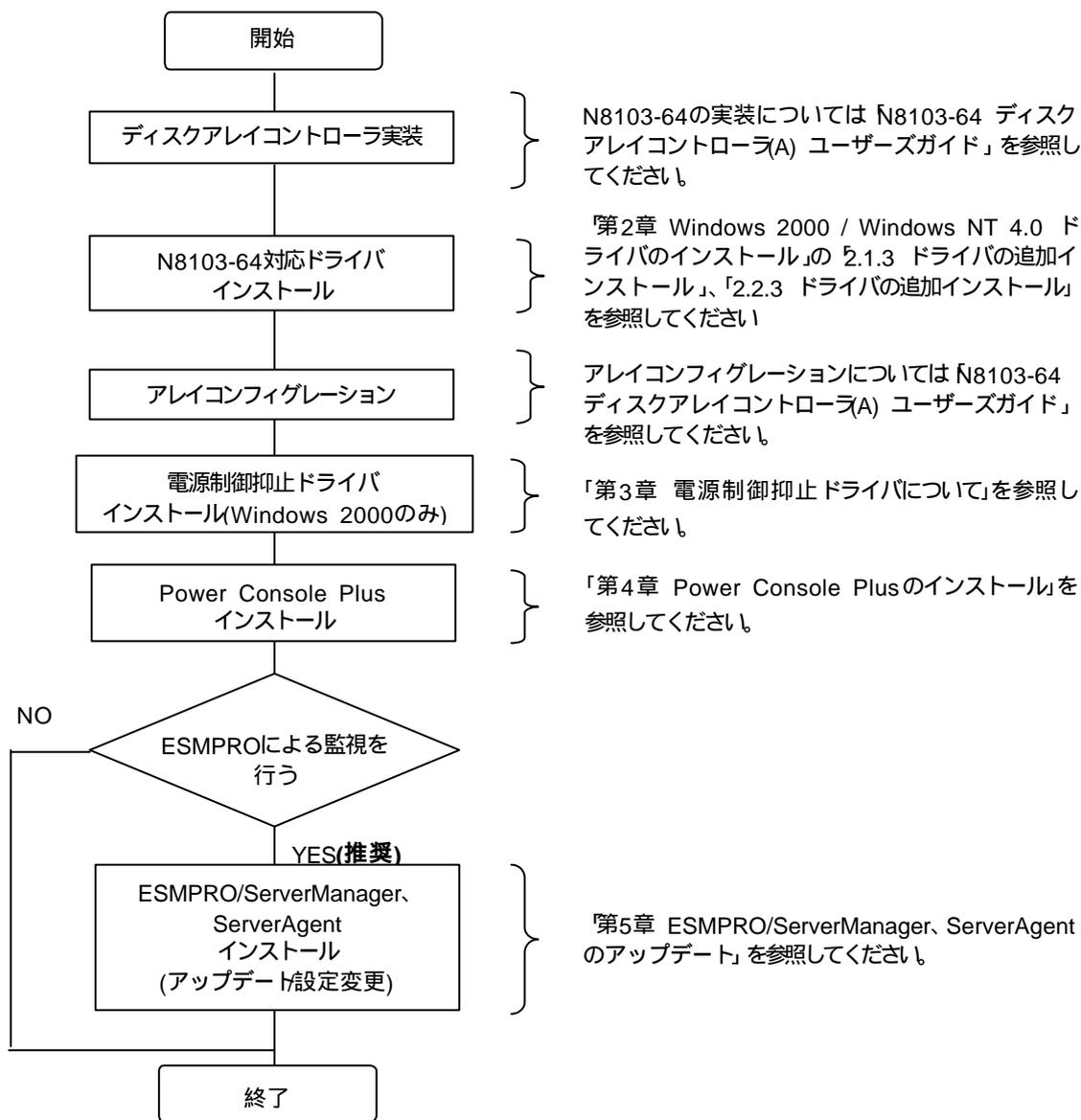


1.5 N8103-64 を新規に追加する場合

N8103-64 ディスクアレイコントローラを新規に追加する場合、N8103-64 ディスクアレイコントローラに対応するドライバはインストールされていません。また、管理ソフトウェアは未インストール、もしくは N8103-64 ディスクアレイコントローラには対応していない場合があります。N8103-64 ディスクアレイコントローラをご利用になるには、次のインストール作業を行う必要があります。

ソフトウェア	購入直後の状態	インストール作業
ドライバ	未インストール	ドライバのインストール
Power Console Plus	未インストール	N8103-64 対応版をインストール
ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent	インストール済、もしくは、未インストール	未インストールの場合は、EXPRESSBUILDERのソフトウェアをインストールしてください。本体装置によっては、N8103-64 に対応するためのアップデートや設定変更が必要です。 詳細は、「第 5 章 ESMPRO/ServerManager、ServerAgent のアップデート」を参照してください。

下記手順に従い、各ソフトウェアのインストール、アップデートを行ってください。



1.6 N8103-64 と他アレイボードが混在する場合

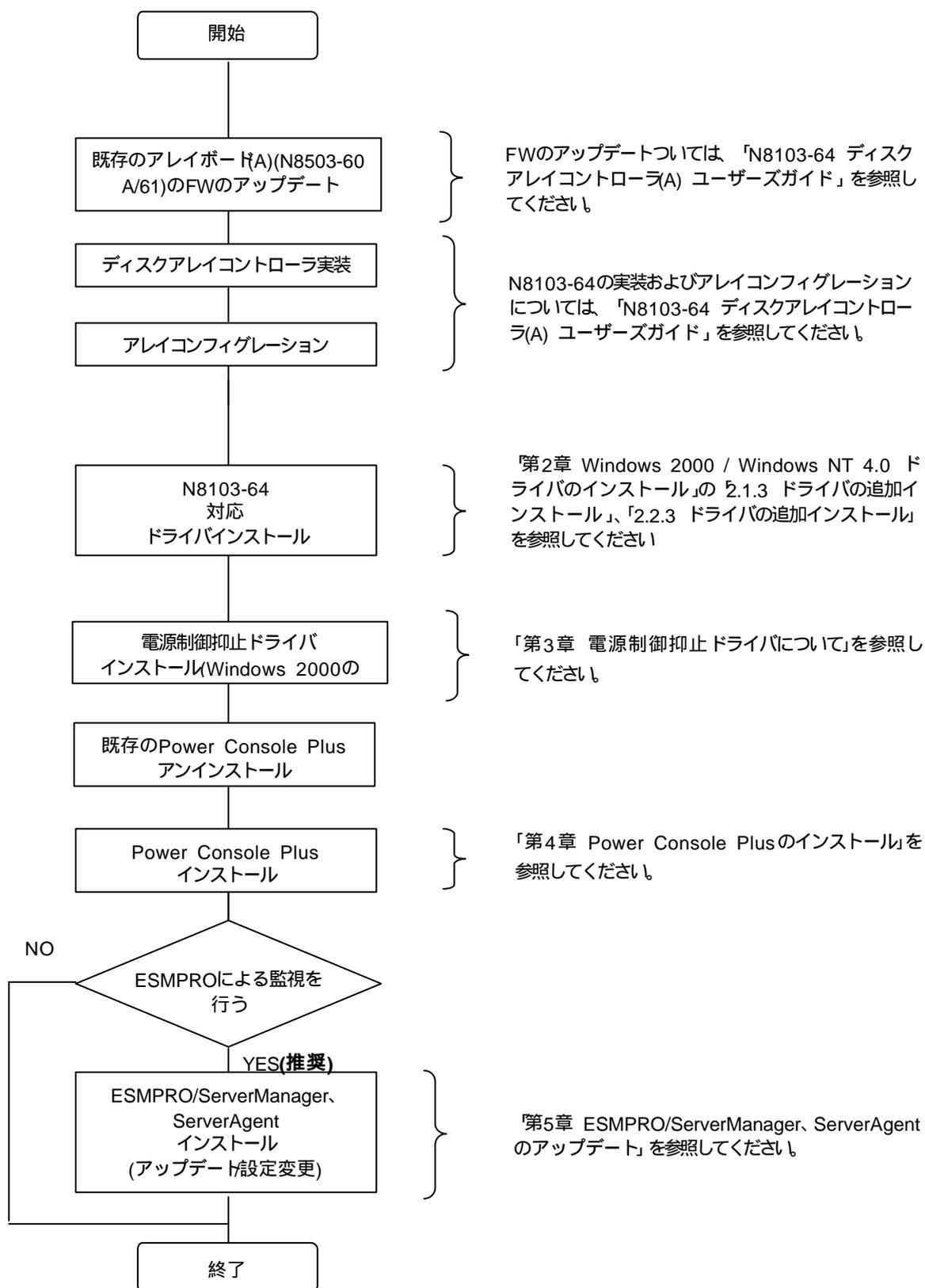
N8503-60A/61 ディスクアレイコントローラをご使用されているシステムに N8103-64 ディスクアレイコントローラを追加する場合には、次のインストール作業を行う必要があります。(注 1)

[N8503-60A/61 ディスクアレイコントローラをご使用されているシステムにN8103-64 を追加する場合]

ソフトウェア	購入直後の状態	インストール作業
ドライバ	インストール済、もしくは、未インストール	N8103-64 対応版をインストール
Power Console Plus	未インストール	本製品添付の CD-ROM からインストール
ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent	インストール済、もしくは、未インストール	未インストールの場合は、EXPRESSBUILDER のソフトウェアをインストールしてください。本体装置によっては、N8103-64 に対応するためのアップデートや設定変更が必要です。 詳細は、「第 5 章 ESMPRO/ServerManager、 ServerAgent のアップデート」を参照してください。

注1) N8103-64 ディスクアレイコントローラ(A)とシステムに混在可能なディスクアレイコントローラは、N8503-60A/61 ディスクアレイコントローラ(A)だけです。

下記手順に従い、各ソフトウェアのインストール、アップデートを行ってください。



第2章 Windows 2000 / Windows NT 4.0 ドライバのインストール

本章では、Windows 2000、Windows NT 4.0 にN8103-64 ディスクアレイコントローラ用のドライバをインストールする手順について説明します。

2.1 Windows NT 4.0 でのドライバのインストール

このセクションでは、Windows NT 4.0 においてN8103-64 ディスクアレイコントローラ (以下 N8103-64 と記述) を使用するための「ドライバのインストール方法」について説明します。ドライバのインストールには、以下の媒体が必要ですので準備してください。

N8503-60A/61, N8103-64 Disk Array Controller MegaRAID^R NT4.0 RAID Driver
(以下、**MegaRAID NT4.0 RAID Driver** と記載します。)

2.1.1 シームレスセットアップ

基本処理装置に添付されている **EXPRESSBUILDER** のバージョンが **Version 2.059 -N ~ 2.066 -N** の場合、シームレスセットアップを行うことができます。以下の手順に従ってください。

なお、**Version 2.067 -N** 以降をご使用の場合は、基本処理装置に添付されている「ユーザズガイド」の指示に従いインストールを実施してください。

注) :任意のアルファベットが入ります。

1. 基本処理装置に添付されている「ユーザズガイド」に従って、インストールを進めます。
2. セットアップ情報の入力/確認の際に「アプリケーション」の「大容量記憶装置ドライバの適用」を選択してください。
3. 「大容量記憶装置ドライバの適用」を「しない」から「する」に設定変更してください。
4. “「大容量記憶装置用 OEM-FD」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。” というダイアログボックスが表示されたら、「**MegaRAID NT4.0 RAID Driver**」をフロッピーディスクドライブに挿入し、[OK]を選択してください。

以後の作業は、本体装置添付のユーザズガイドの指示に従ってください。

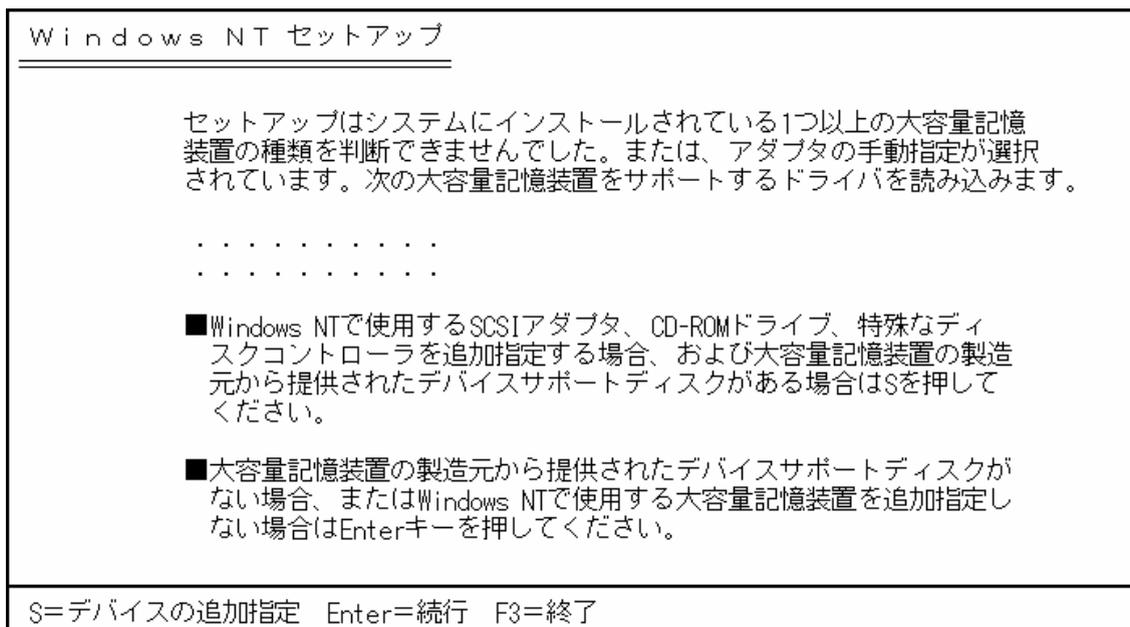
セットアップ終了後、「**MegaRAID NT4.0 RAID Driver**」をフロッピーディスクドライブに挿入し、Update.exe を起動してください。以降の作業はメッセージに従ってください。システムの再起動後、ドライバの設定が有効になります。

2.1.2 マニュアルセットアップ

「WindowsNT4.0 インストレーションサプリメントガイド」のマニュアルセットアップに記載されている「大容量記憶装置のセットアップ」に、以下の作業手順を追加して実施願います。

1. システムの電源を入れます。
2. サーバの CD-ROM ドライブにWindowsNT CD-ROM をセットしてください。
WindowsNT CD-ROM を CD-ROM ドライブにセット後、リセット (<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す)、もしくは電源を OFF/ON してサーバを再起動してください。
3. 画面が以下のどちらかの状態のときに<F6>キーを押します。
・セットアップは、コンピュータのハードウェア構成を検査しています...の表示中
・青一色の画面の表示中

4. 以下の画面を確認して、<S>キーを押します。



5. 以下の画面になりますので、[その他]を選び、<Enter>キーを押します。



6. **MegaRAID NT4.0 RAID Driver** をフロッピーディスクドライブに挿入し、<Enter>キーを押してください。SCSI アダプタのリストが表示されます。
7. SCSI アダプタのリストから [LSI MegaRAID NT4.0 RAID Driver] を選び、<Enter>キーを押します。以降の作業はメッセージに従ってください。

セットアップ終了後、「**MegaRAID NT4.0 RAID Driver**」をフロッピーディスクドライブに挿入し、Update.exe を起動してください。以降の作業はメッセージに従ってください。システムの再起動後、ドライバの設定が有効になります。

2.1.3 ドライバの追加インストール

他の DISK(N8503-60A/61 配下の Disk 含む)に Windows NT 4.0 がインストールされたシステムに N8103-64 を追加する場合、コントローラを接続し、以下の手順でドライバのインストールを行ってください。ドライバのインストール後、アレイのコンフィグレーションを実施してください。

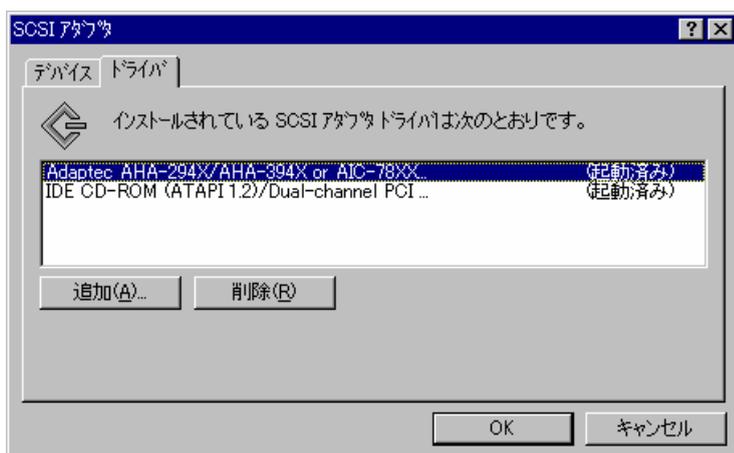
1. システムを起動し、管理者権限を持つユーザ(administrator など)でログオンします。
2. [スタート] [設定] [コントロールパネル]でコントロールパネルウィンドウを表示させ[SCS アダプタ]を起動します。



3. 以下のダイアログボックスが表示されますので、[ドライバ]のタブをクリックしてください。



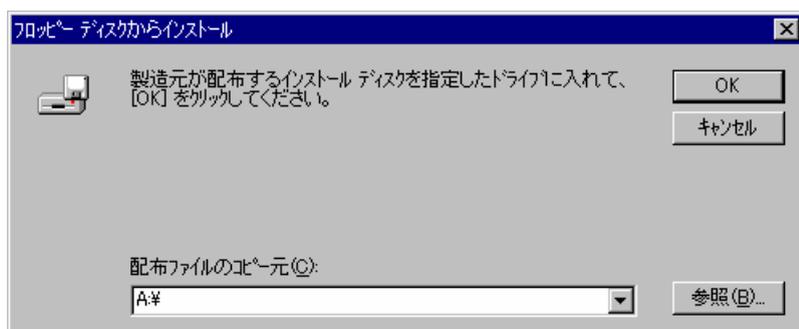
4. 以下のダイアログボックスが表示されますので、[追加(A)]をクリックしてください。



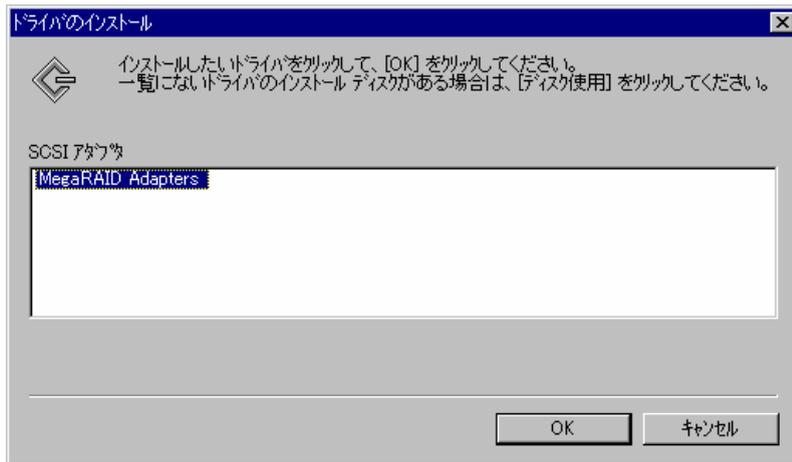
5. 以下のダイアログボックスが表示されますので、「MegaRAID NT4.0 RAID Driver」をフロッピーディスクドライブに挿入し、[ディスク使用(H)]をクリックしてください。



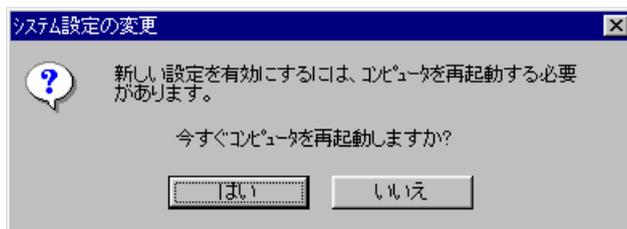
6. ダイアログボックスが表示されますので、[配布ファイルのコピー元(C)]に “A¥” と入力し、[OK]をクリックしてください。



7. 以下のダイアログボックスが表示されますので、[MegaRAID Adapters]にカーソルを合わせて、[OK]をクリックしてください。



8. 以下のダイアログボックスが表示されますので、[はい(Y)]を選択して、Windows NT を再起動してください。再起動後、ドライバが有効となります。



ドライバのインストール完了後、アレイのコンフィグレーションを実施して下さい。

2.2 Windows 2000 でのドライバのインストール

このセクションでは Windows 2000 において N8103-64 ディスクアレイコントローラ (以下 N8103-64 と記述) を使用するための「ドライバのインストール方法」について説明します。ドライバのインストールには、以下の媒体が必要ですので準備してください。

N8103-64 Disk Array Controller MegaRAID^R Windows 2000 RAID Driver
(以下、MegaRAID Windows 2000 RAID Driver と記載しています。)

2.2.1 シームレスセットアップ

基本処理装置に添付されている EXPRESSBUILDER のバージョンが Version 2.059 -N ~ 2.066 -N の場合、シームレスセットアップを行うことができます。以下の手順に従ってください。

なお、Version 2.067 -N 以降をご使用の場合は、基本処理装置に添付されている「ユーザズガイド」の指示に従いインストールを実施してください。

注) :任意のアルファベットが入ります。

1. 基本処理装置に添付されている「ユーザズガイド」に従って、インストールを進めます。
2. セットアップ情報の入力/確認の際に「アプリケーション」の「大容量記憶装置ドライバの適用」を選択してください。
3. 「大容量記憶装置ドライバの適用」を「しない」から「する」に設定変更してください。
4. “「大容量記憶装置用 OEM-FD」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。”というダイアログボックスが表示されたら、「MegaRAID Windows 2000 RAID Driver」をフロッピーディスクドライブに挿入し [OK] を選択してください。

以後は本体装置添付の「ユーザズガイド」の指示に従ってください。

2.2.2 マニュアルセットアップ

「Windows 2000 インストレーションサプリメントガイド」のマニュアルセットアップに記載されている「大容量記憶装置のセットアップ」に、以下の作業手順を追加して実施願います。

1. システムの電源を入れます。
2. サーバの CD-ROM ドライブに Windows 2000 CD-ROM をセットしてください。
Windows 2000 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセット後、リセット (<Ctrl>+<Alt>+<Delete> キーを押す)、もしくは電源を OFF/ON してサーバを再起動してください。ハードディスク上に起動可能な OS がインストール済みの場合は、画面上部に「Press any key to boot from CD...」が表示されている間に <Enter> キーを押してください。起動可能な OS が存在しない場合は不要です。

CD-ROM からシステムが立ち上がり、Windows 2000 のセットアップ画面が表示されます。
画面が表示されなかった場合は、<Enter> キーが正しく押されていません。もう一度システムの電源を ON し直してから始めてください。

3. 画面上部に、「Setup is inspecting your computer's hardware configuration...」が表示されている間に <F6> キーを押してください。

4. 以下のメッセージが表示されたら<S>キーを押してください。

Setup could not determine the type of one or more mass storage devices installed in your system, or you have chosen to manually specify an adapter. Currently, Setup will load support for the following mass storage device(s)

5. 以下のメッセージが表示されます。

Please insert the disk labeled
manufacturer- supplied hardware support disk
into Drive A:
* Press ENTER when ready.

6. 「MegaRAID Windows 2000 RAID Driver」を、フロッピーディスクドライブにセットし、<Enter>キーを押してください。SCSI アダプタのリストが表示されます。
7. [LSI Logic MegaRAID Enterprise 1600 RAID Controller Driver]を選び、<Enter>キーを押してください。

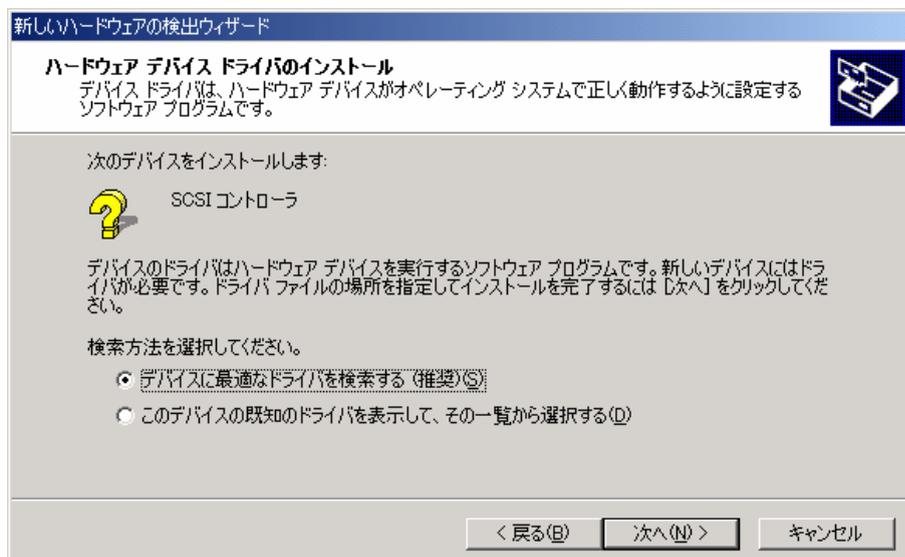
以降は、メッセージに従ってインストール作業を続けてください。

2.2.3 ドライバの追加インストール

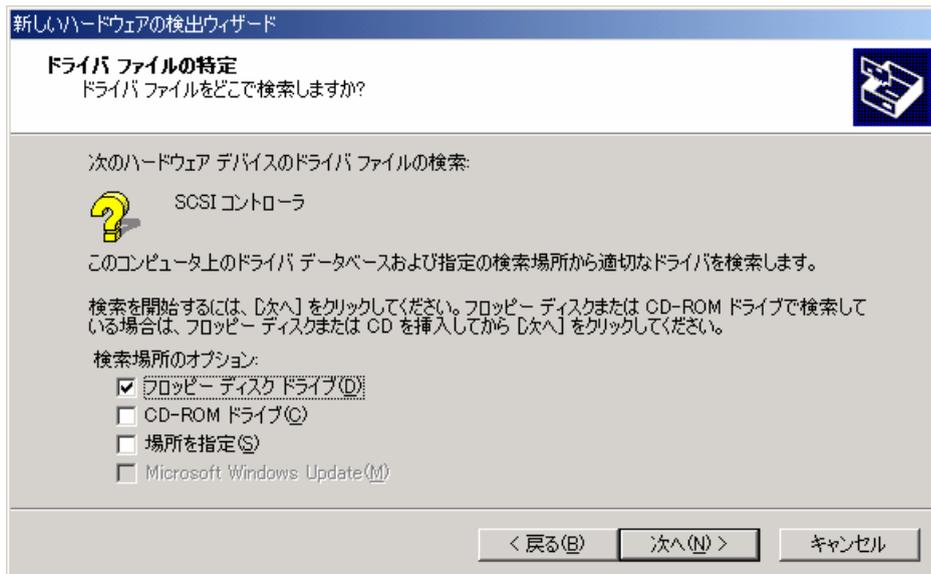
既に Windows 2000 がインストールされたシステムに N8103-64 を追加する場合、コントローラを接続し、以下の手順でドライバのインストールを行ってください。

注意 アレイのコンフィグレーション情報の作成は必ず、**ドライバのインストール後、実施してください。**

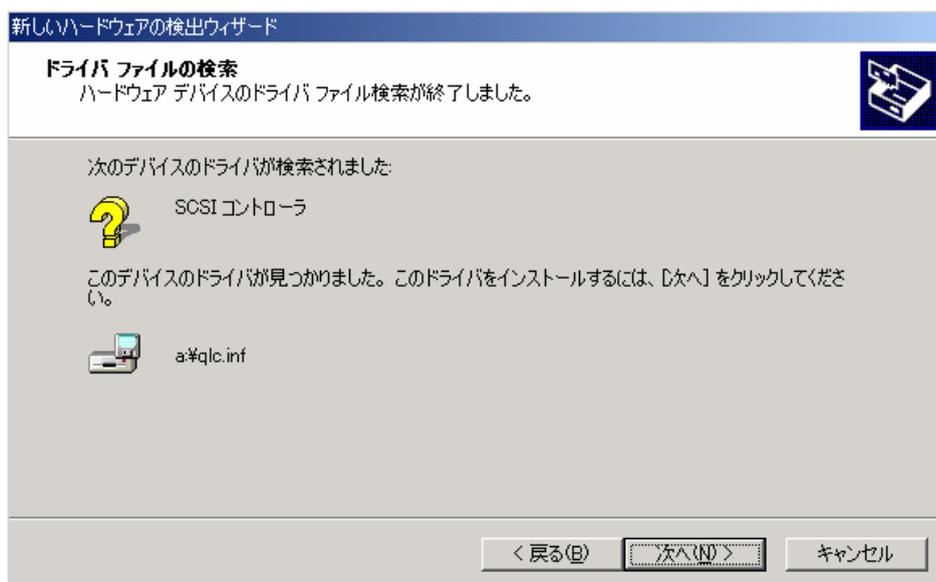
1. 下記のようなダイアログボックスが表示されますので、[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)(S)]を選び、[次へ]をクリックしてください。



2. 次のようなダイアログボックスが表示されますので、[フロッピーディスクドライブ(D)]を選択し、「MegaRAID Windows 2000 RAID Driver」をフロッピーディスクドライブにセットし、[次へ]をクリックします



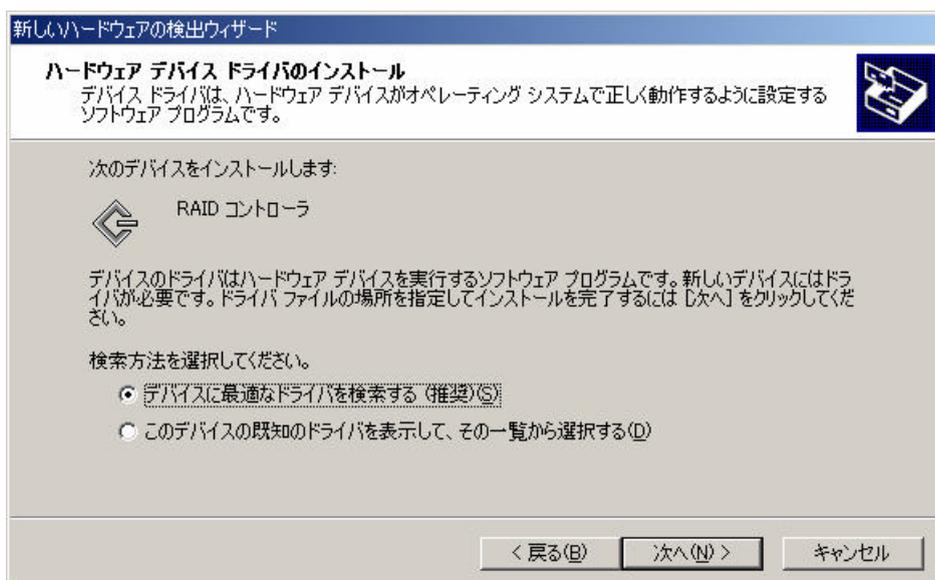
3. 下記のようなダイアログボックスが表示されますので、[次へ]をクリックします。



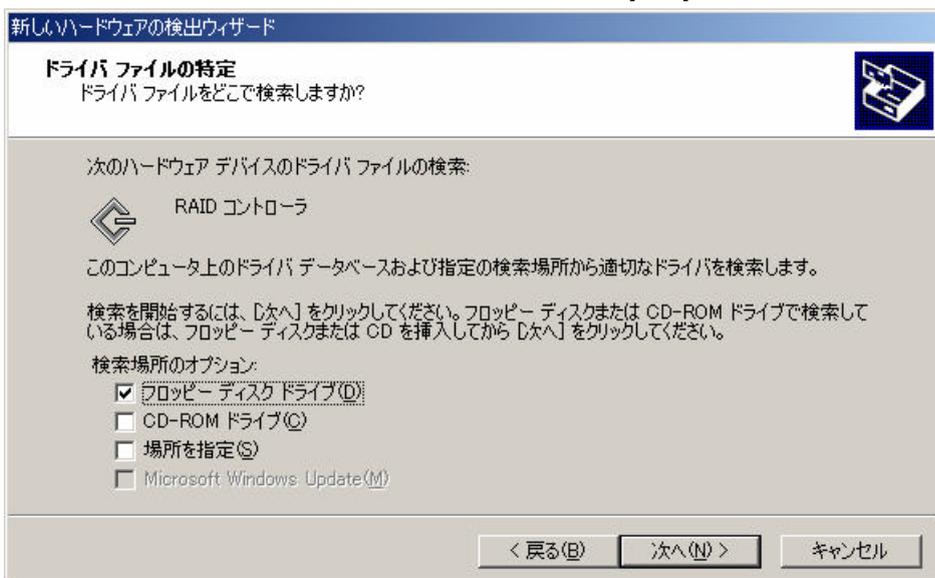
4. ドライバのコピー処理が終了し、下記の 新しいハードウェアの検出ウィザードの完了 ダイアログボックスが表示されます。



5. 下記のようなダイアログボックスが表示されますので、[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)(S)]を選び、[次へ]をクリックしてください。



6. 次のようなダイアログボックスが表示されますので、[フロッピーディスクドライブ(D)]を選択し、「MegaRAID Windows 2000 RAID Driver」をフロッピーディスクドライブにセットし、[次へ]をクリックします。



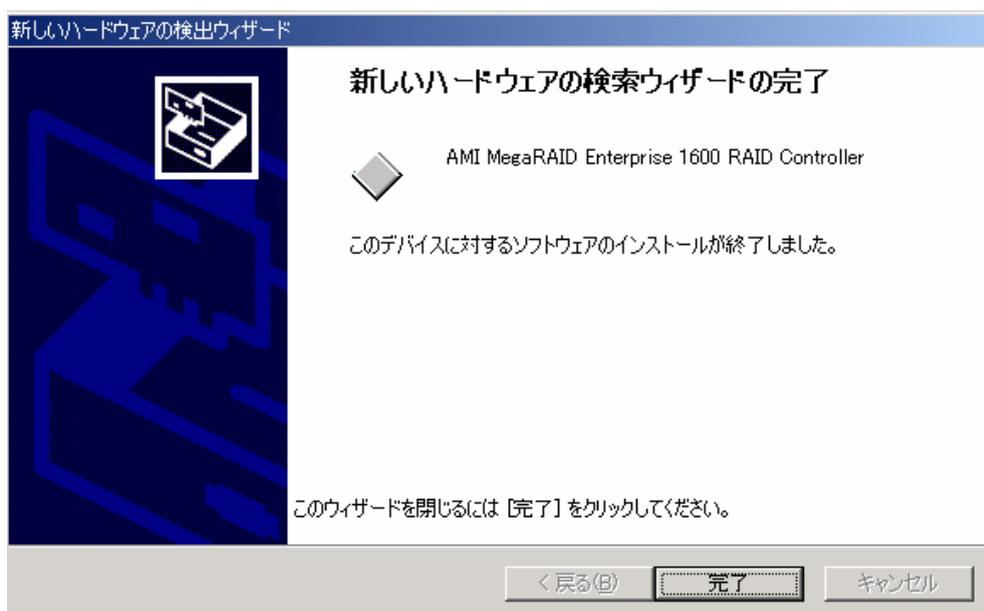
7. 下記のようなダイアログボックスが表示されますので、[次へ]をクリックします。



8. 下記のようなダイアログボックスが表示されますが、システム動作上、問題ありません。[はい]をクリックしてください。



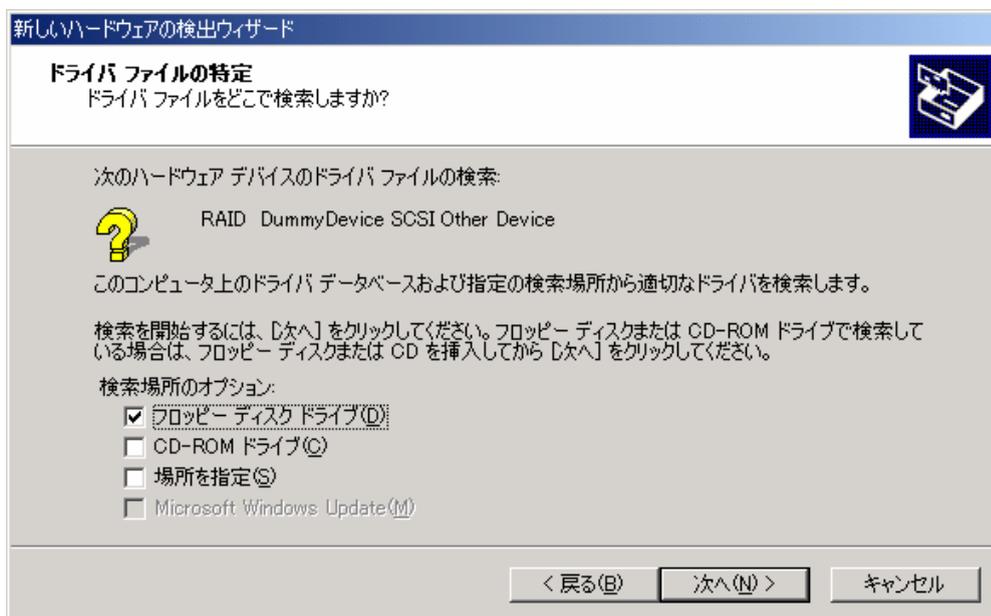
9. ドライバのコピー処理が終了し、下記の 新しいハードウェアの検出ウィザードの完了ダイアログボックスが表示されます。



10. RAID コントローラのドライバのインストールが終ると、下記のようなダイアログボックスが表示される場合がありますので、[デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)(S)]を選び、[次へ]をクリックしてください (既にAMI アレイコントローラをご使用されている場合には下記のダイアログボックスは表示されません。手順14 へと進んで下さい。)



11. 次のようなダイアログボックスが表示されますので、[フロッピーディスクドライブ(D)]を選択し、「MegaRAID Windows 2000 RAID Driver」をフロッピーディスクドライブにセットし、[次へ]をクリックします



12. 下記のようなダイアログボックスが表示されますので、[次へ]をクリックします。



13. ドライバのコピー処理が終了し、下記の 新しいハードウェアの検出ウィザードの完了 ダイアログボックスが表示されます。



14. これで、ドライバのインストールは終了です。

ドライバのインストール後、ディスクアレイのコンフィグレーション情報を作成してください。

第3章 電源制御抑止ドライバについて

3.1 AMI Standby/Hibernation Lock をインストールする前に

AMI ディスクアレイコントローラ使用中の休止状態やスタンバイへの移行はサポート対象外です。本機能をインストールすることで、システムの休止状態やスタンバイ状態への移行を抑止することが出来ます。

本機能を使用することで、誤って休止状態やスタンバイ状態へシステムが移行するのを抑止することが出来ます。

この機能は Power Console Plus が動作する以下の環境にインストールすることが出来ます。

Microsoft[®] Windows[®] 2000 Server
Microsoft[®] Windows[®] 2000 Advanced Server

3.2 AMI Standby/Hibernation Lock のインストール

次の手順に従って AMI Standby/Hibernation Lock をインストールします。

1. 管理者権限のあるアカウント(administrator 等)で、システムにログオンする。
2. インストールを始める前に実行中のアプリケーションを終了させる。
3. NEC Express5800 シリーズ ディスクアレイコントローラ(A) セットアップ媒体「CD-ROM」をドライブにセットする。
4. エクスプローラ等を使って、CD-ROM の以下のバッチファイルを起動する。

¥ACPI_dr¥ami_inst.bat

コマンドプロンプトに以下のメッセージが表示されるとインストールは完了です。

Driver Installed successfully

以上でインストールは完了です。



AMI Standby/Hibernation Lock をインストールする場合には以下の点に注意して下さい。

インストール前にデバイスマネージャのシステムデバイスに NEC Standby/Hibernation Lock があるか確認してください。

この環境に AMI Standby/Hibernation Lock をインストールし、その後、アンインストールする場合には NEC Standby/Hibernation Lock のインストールが必要になります。

3.3 AMI Standby/Hibernation Lock のアンインストール

1. 管理者権限のあるアカウント (administrator 等)で、システムにログオンしてください。
 2. スタートメニューから[設定]を選択し、[コントロールパネル]を起動します。
 3. [管理ツール]内の[コンピュータの管理]を起動し、[デバイスマネージャ]をクリックします。
 4. デバイスの一覧が表示されます。
 5. デバイスの一覧より[システムデバイス]、[AMI Standby/Hibernation Lock]の順でダブルクリックします。[AMI Standby/Hibernation Lock のプロパティ]画面が表示されます。
 6. [ドライバ]タブをクリックし、[削除(U)]をクリックします。
- 以下のような[デバイスの削除の確認]画面が表示されます。



[OK]をクリックしてください。

以上でアンインストールは完了です。

第4章 Power Console Plusのインストール

本章では、Power Console Plus のインストール手順について説明します。

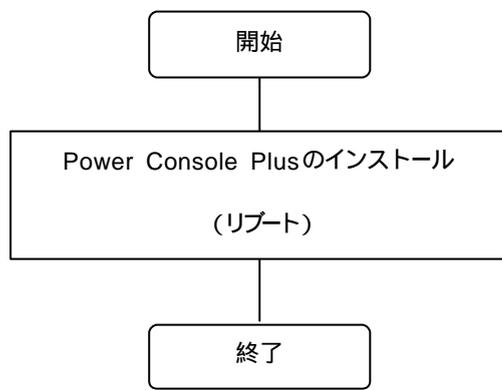
N8103-64 ディスクアレイコントローラを制御するためには Power Console Plus はバージョン 4.00x-j 以降が必要です。システムにすでに Power Console Plus がインストール済の場合はそのバージョンを確認してください。バージョンが 4.00x-j よりも古ければ一旦、アンインストールを行ってください。

インストールに使用するCD-ROM 媒体には次の名称が印刷されています。

「NEC Express5800 シリーズ ディスクアレイコントローラ(A) セットアップ媒体」

Power Console Plus は、上記 CD-ROM 媒体の「PCONSETUP.EXE」を起動するとインストールされます。インストール完了後は必ずシステムを再起動してください。

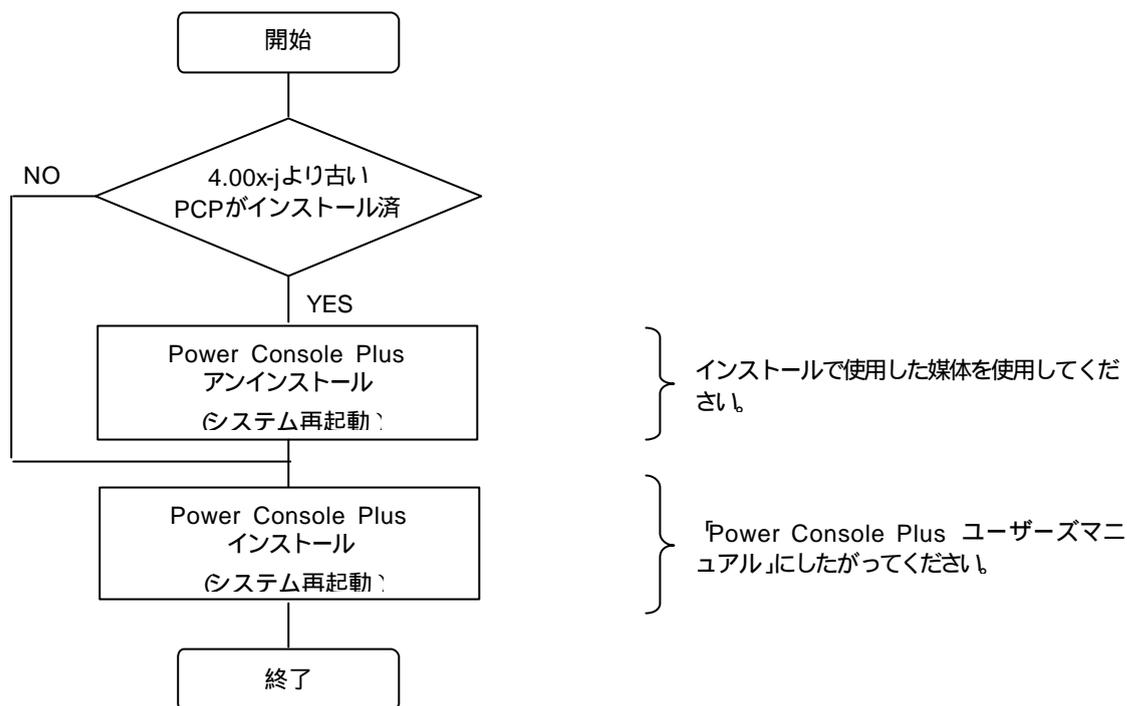
詳細な作業手順については 上記 CD-ROM 媒体の中の「PowerConsole Plus? ユーザーズマニュアル」(ファイル名: manualPCP_manual.pdf)を参照してください。



管理 PC に Power Console Plus をインストールする手順も上記と同じです。
詳細は、「Power Console Plus™ユーザーズマニュアル」を参照してください。

4.1 Power Console Plus のアップデート手順

Power Console Plus のアップデート手順を以下に示します。



Power Console Plus™ ユーザーズマニュアル」は、PDF 形式にて提供しています。
「Power Console Plus™ ユーザーズマニュアル」を表示させるためには、あらかじめ Adobe Acrobat Reader 4.0 をインストールしてください。Adobe Acrobat Reader は、EXPRESSBUILDER のマスターコントロールメニューからインストールできます。

第5章 ESMPRO/ServerManager、ServerAgentのアップデート

本章では、ESMPRO/ServerManager、ServerAgentそれぞれのアップデート手順について説明します。

ESMPRO/ServerManager、ServerAgent で N8103-64 を監視するには、本体装置の種類により(本体装置の種類はEXPRESSBUILDERのバージョンにより判断してください)、アップデートもしくは設定変更を行う必要があります。

ここでは、ESMPRO/ServerManager、ServerAgentそれぞれのアップデート、設定変更手順について説明します。

[N8103-64 を新規にインストールする場合]

EXPRESSBUILDER バージョン	ESMPRO/ServerManager	ESMPRO/ServerAgent
2.058 -N 以前 (注1)	1. 装置添付の ESMPRO/ServerManager をインストールしてください 5.1 ESMPRO/ServerManager のインストール」を参照 2. インストール後、アップデートを行ってください 5.3 ESMPRO/ServerManager のアップデート」を参照	1. 装置添付の ESMPRO/ServerAgent をインストールしてください 5.2 ESMPRO/ServerAgent のインストール」を参照 2. インストール後、アップデートを行ってください 5.4 ESMPRO/ServerAgent のアップデート」を参照
2.059 -N (注1) 2.062 -N (注1)	1. 装置添付の ESMPRO/ServerManager をインストールしてください 5.1 ESMPRO/ServerManager のインストール」を参照	1. 装置添付の ESMPRO/ServerAgent をインストールしてください 5.2 ESMPRO/ServerAgent のインストール」を参照 2. インストール後、設定変更を行ってください 5.5 ESMPRO/ServerAgent の設定変更」を参照
2.063 -N 以降 (注1)		装置添付の ESMPRO/ServerAgent をインストールしてください 5.2 ESMPRO/ServerAgent のインストール」を参照

[他のディスクアレイコントローラが混在しないシステムへ N8103-64 を追加する場合]

EXPRESSBUILDER バージョン	ESMPRO/ServerManager	ESMPRO/ServerAgent
2.058 -N 以前 (注1)	ESMPRO/ServerManager のアップデートを行ってください 5.3 ESMPRO/ServerManager のアップデート」を参照	ESMPRO/ServerAgent のアップデートを行ってください 5.4 ESMPRO/ServerAgent のアップデート」を参照
2.059 -N (注1) 2.062 -N (注1)	とくに作業は必要ありません。 そのままの環境で N8103-64 の監視を行えます。	N8103-64 対応の設定変更を行ってください 5.5 ESMPRO/ServerAgent の設定変更」を参照
2.063 -N 以降 (注1)		とくに作業は必要ありません。 そのままの環境で N8103-64 の監視を行えます。

[他のディスクアレイコントローラが混在するシステムへ N8103-64 を追加する場合]

EXPRESSBUILDER バージョン	ESMPRO/ServerManager	ESMPRO/ServerAgent
2.058 -N 以前 (注1)	とくに作業は必要ありません。 そのままの環境で N8103-64 の監視を行えます。	N8103-64 対応の設定変更を行ってください 5.5 ESMPRO/ServerAgent の設定変更」 を参照
2.059 -N (注1)		N8103-64 対応の設定変更を行ってください 5.5 ESMPRO/ServerAgent の設定変更」 を参照
2.062 -N (注1)		
2.063 -N 以降 (注1)		とくに作業は必要ありません。 そのままの環境で N8103-64 の監視を行えます。

注 1) には、任意のアルファベットが入ります。

5.1 ESMPRO/ServerManager のインストール

ESMPRO/ServerManager は、装置添付の EXPRESSBUILDER を使用してインストールしてください。

ESMPRO/ServerManager のインストールについては、「ESMPRO/ServerManager (Windows2000/NT/95 版) インストールガイド」を参照してください。



ESMPRO/ServerManager (Windows2000/NT/95 版) インストールガイド」は PDF 形式にて提供しています。EXPRESSBUILDER CD-ROM の「オンラインドキュメントライブラリ」に格納されています。

Adobe Acrobat Reader は、EXPRESSBUILDER CD-ROM の Master Control Menu からインストールできます。

5.2 ESMPRO/ServerAgent のインストール

ESMPRO/ServerAgent は、装置添付の EXPRESSBUILDER、もしくはシームレスセットアップを使用してインストールしてください。

EXPRESSBUILDER を使用した ESMPRO/ServerAgent のインストールについては、「ESMPRO/ServerAgent (Windows2000/NT 版) インストールガイド」を参照してください。



ESMPRO/ServerAgent (Windows2000/NT 版) インストールガイド」は PDF 形式にて提供しています。EXPRESSBUILDER CD-ROM の「オンラインドキュメントライブラリ」に格納されています。

Adobe Acrobat Reader は、EXPRESSBUILDER CD-ROM の Master Control Menu からインストールできます。

シームレスセットアップを使用した ESMPRO/ServerAgent のインストールについては、装置添付の「ユーザズガイド」を参照してください。

5.3 ESMPRO/ServerManager のアップデート

本アップデートを実行する前に以下の点を確認してください。

- ? Express サーバに ESMPRO/ServerAgent Ver3.8 がインストールされていること
- ? 管理者権限を持つユーザ(Administrator)でログオンしていること
- ? 「コントロールパネル」を終了していること
- ? Power Console Plus がインストールされていること



ESMPRO/ServerAgent は、AMI ディスクアレイシステムの情報を監視するにあたり、Power Console Plus を必要とします。ESMPRO/ServerAgent により AMI ディスクアレイシステムの情報を監視するには、必ず Power Console Plus をインストールしてください。

確認が完了したら、次の手順でアップデートを行ってください。

1. CD-ROM ドライブに、「NEC Express5800 シリーズ ディスクアレイコントローラ(A) セットアップ媒体」と印刷された CD-ROM をセットしてください。
2. [スタート] [ファイル名を指定して実行] を選択してください。[ファイル名を指定して実行]ダイアログが開いたら、[名前(Q)]に次のように入力して、[OK]ボタンを押してください (説明では CD-ROM が D ドライブであると仮定して説明します)。

D:\ESMSM\setup.exe

3. アップデートプログラムが起動しますので、画面の指示に従って[次へ]ボタンを押してください。アップデートが終了すると、システムの再起動を促すダイアログが表示されます。[終了]ボタンを押して setup.exe を終了してください。setup.exe の終了後、システムを再起動してください。
4. システムが再起動されたらアップデートは完了です。



Windows95/98 上で AMI ディスクアレイシステムのヘルプファイルを参照する場合には、次のファイルを移動してください。

[ファイル]

PROAMIDV.HLP

proamidv.CNT

[移動ディレクトリ]

¥Program Files¥Esmpro¥Esmsm¥bin

¥Program Files¥Esmpro¥Nvbase¥bin

5.4 ESMPRO/ServerAgent のアップデート

本アップデートを実行する前に以下の点を確認してください。

- ? Express サーバに ESMPRO/ServerAgent Ver3.8 がインストールされていること
- ? 管理者権限を持つユーザ(Administrator)でログオンしていること
- ? 「コントロールパネル」を終了していること
- ? Power Console Plus がインストールされていること



ESMPRO/ServerAgent は、AMI ディスクアレイシステムの情報を監視するにあたり、Power Console Plus を必要とします。ESMPRO/ServerAgent により AMI ディスクアレイシステムの情報を監視するには、必ず Power Console Plus をインストールしてください。

確認が完了したら、次の手順でアップデートを行ってください。

1. CD-ROM ドライブに、「NEC Express5800 シリーズ ディスクアレイコントローラ(A) セットアップ媒体」と印刷された CD-ROM をセットしてください。
2. [スタート] [ファイル名を指定して実行 R] を選択してください。[ファイル名を指定して実行]ダイアログが開いたら、[名前(Q)]に次のように入力して、[OK]ボタンを押してください (説明では CD-ROM が D ドライブであると仮定して説明します)。

D:\ESMSA\setup.exe

3. アップデートプログラムが起動しますので、画面の指示に従って[次へ]ボタンを押してください。
4. アップデートが終了すると、システムの再起動を促すダイアログが表示されます。[終了]ボタンを押して setup.exe を終了してください。setup.exe の終了後、システムを再起動してください。
5. システムが再起動されたらアップデートは完了です。

5.5 ESMPRO/ServerAgent の設定変更

設定変更を行う前に以下の点を確認してください。

- ? Express サーバに ESMPRO/ServerAgent Ver3.8 がインストールされていること
- ? 管理者権限を持つユーザ(Administrator)でログオンしていること

確認が完了したら、次の手順で設定変更を行ってください。

1. ESMPRO/ServerAgent のストレージ監視を行う” ESM Storage Service ” を停止します。
[Windows 2000 の場合]
 - a) [マイコンピュータ] [コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルを開いてください。
 - b) [管理ツール]を起動し、[サービス]を選択してください。表示されるサービスの一覧から、” ESM Storage Service ” を選択し、[操作]メニューで[停止]を選択してサービスを停止してください。
[WindowsNT 4.0 の場合]
 - a) [マイコンピュータ] [コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルを開いてください。
 - b) [サービス]を起動してください。表示されるサービスの一覧から、” ESM Storage Service ” を選択し、[停止]ボタンを押してサービスを停止してください。
2. [スタート]メニューで[ファイル名を指定して実行]を選択してください。[ファイル名を指定して実行]ダイアログが開いたら、[名前(Q)]に次のように入力して、[OK]ボタンを押してください (説明では CD-ROM が D ドライブであると仮定して説明します)。

D:¥ESMSAREG¥strgreg

3. ESMPRO/ServerAgent のストレージ監視を行う” ESM Storage Service ” を開始します。
[Windows 2000 の場合]
 - a) [マイコンピュータ] [コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルを開いてください。
 - b) [管理ツール]を起動し、[サービス]を選択してください。表示されるサービスの一覧から、” ESM Storage Service ” を選択し、[操作]メニューで[開始]を選択してサービスを開始してください。
[WindowsNT 4.0 の場合]
 - a) [マイコンピュータ] [コントロールパネル]を選択し、コントロールパネルを開いてください。
 - b) [サービス]を起動してください。表示されるサービスの一覧から、” ESM Storage Service ” を選択し、[開始]ボタンを押してサービスを開始してください。

5.6 ESMPRO/ServerManager へのメニュー連携の設定

Power Console Plus の起動メニューを ESMPRO/ServerManager に追加できます。

ESMPRO/ServerManager へのメニュー連携の設定手順については、「Power Console Plus™ ユーザーズマニュアル」を参

照してください。

第6章 ESMPRO/ServerManager,ServerAgentによる監視機能

ESMPRO/ServerManager、ServerAgent を利用すると、N8103-64 ディスクアレイコントローラ(A)(以下、「AMI ディスクアレイシステム」と記述)の管理、状態監視、ハードディスクの予防保守を行えます。

本章では、ESMPRO/ServerManager、ServerAgent によるAMI ディスクアレイシステムの監視機能について説明します。

6.1 状態監視機能

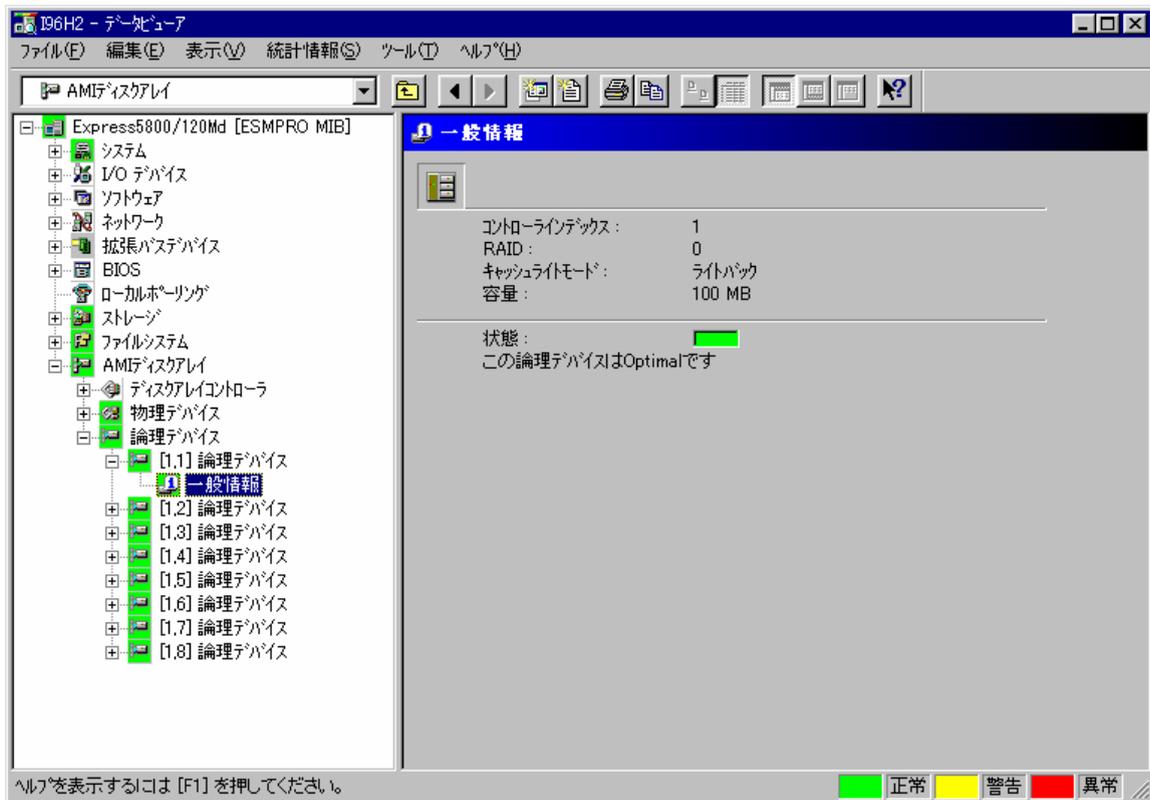
ESMPRO/ServerManager、ServerAgent は、ハードディスクの状態監視機能や予防保守機能により、AMI ディスクアレイシステムにおけるハードディスク障害の早期発見を行います。ディスクアレイの構成や情報は、マネージャのデータビューアで参照できます。

AMI ディスクアレイシステムの管理情報は、おもにディスクアレイコントローラ、論理デバイス、物理デバイスの3つのカテゴリにより表示します。

6.1.1 ハードディスク状態監視

2 論理デバイスの監視

AMI ディスクアレイシステムの論理デバイスに関する各種情報をデータビューアで参照できます。
[状態]の項目を参照すると、論理デバイスの状態を確認できます。

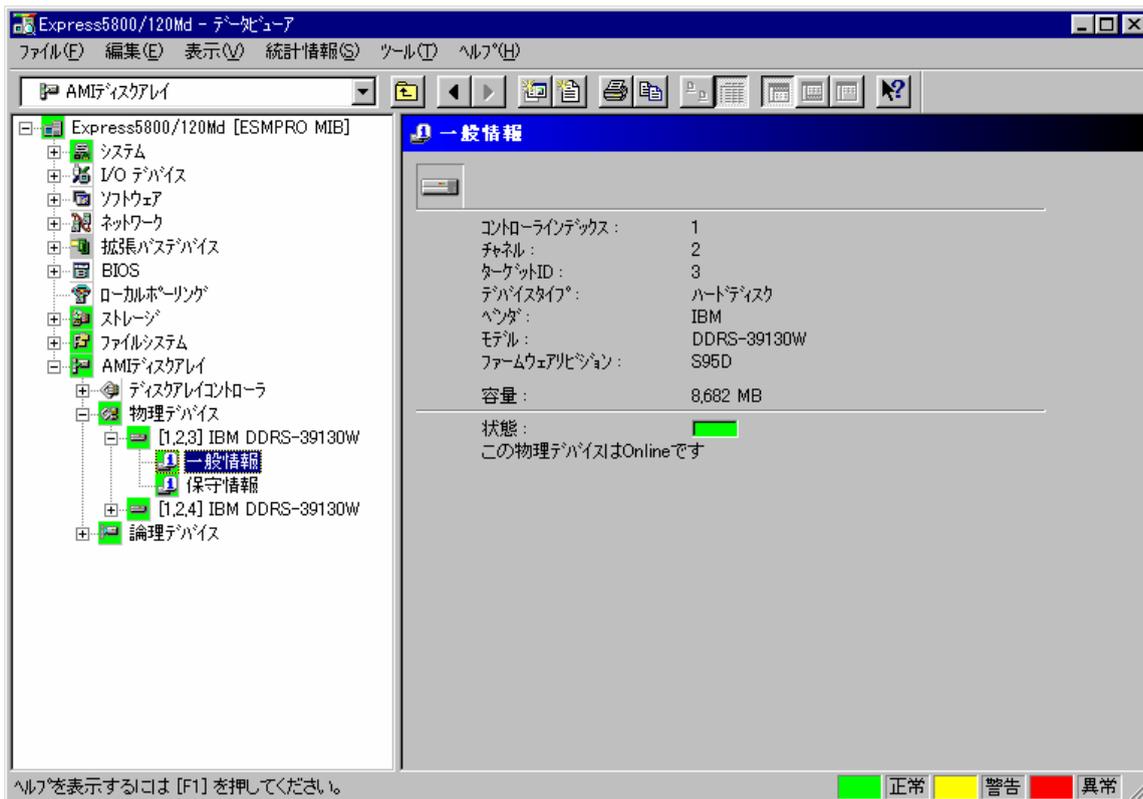


データビューアの[論理デバイス]-[一般情報]

論理デバイスの[状態]項目の LED は、論理デバイスの状態を表示します。

■	(正常色) : Optimal、Initialize、CheckConsistency
■	(警告色) : Degraded
■	(異常色) : Offline

- 2 物理デバイス(AMI ディスクアレイシステムを構成するハードディスク)の監視
AMI ディスクアレイシステムを構成するハードディスクの構成情報をデータビューアで参照できます。
[状態]の項目を参照すると、物理デバイスの状態を確認できます。



データビューアの[物理デバイス]-[一般情報]

物理デバイス一般情報(ハードディスク)の[状態]項目の LED は、物理デバイスの状態を表示します。

	(正常色) : Online、Ready、HotSpare、Rebuild中
	(異常色) : Failed

6.2 ハードディスク予防保守機能

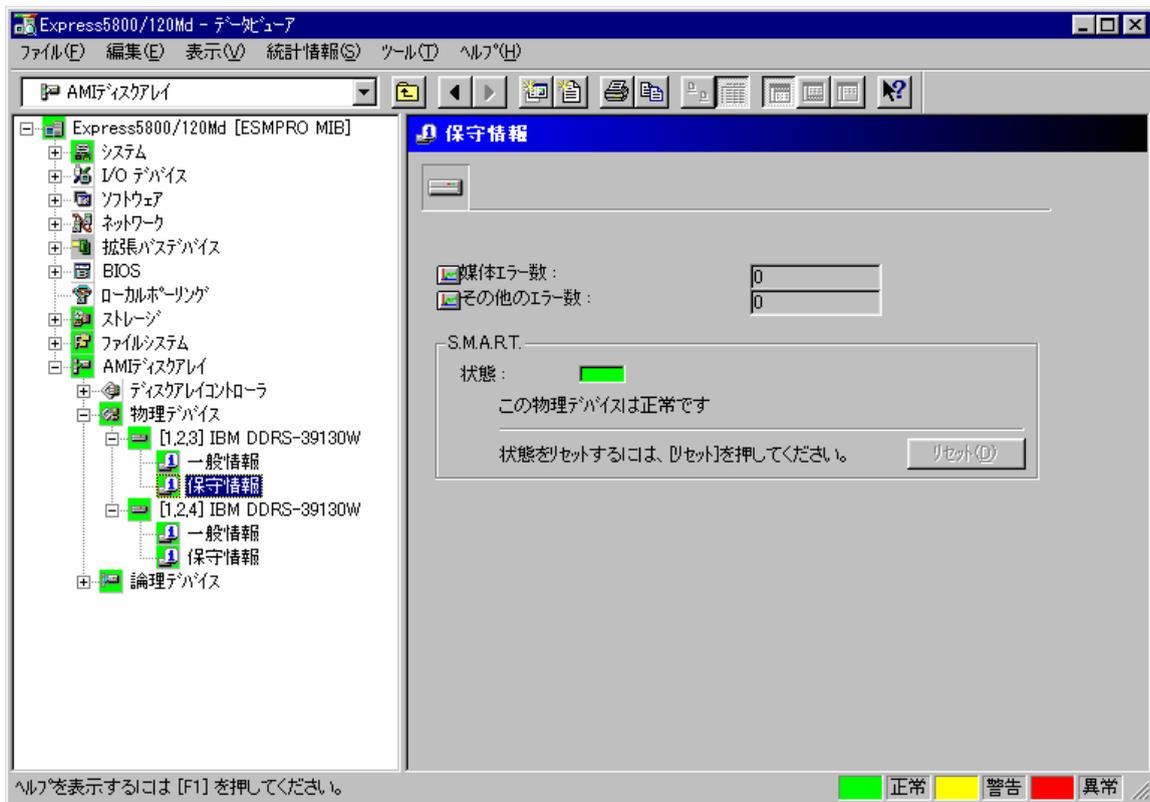
ESMPRO/ServerAgent は、ハードディスクの予防保守機能を持っています。
予防保守判定の結果により、ハードディスクの障害が発生する前にハードディスクを交換することが可能となります。

6.2.1 S.M.A.R.T.機能による予防保守機能について

ESMPRO/ServerAgent は、AMI ディスクアレイシステムに接続したハードディスクの予防保守判定に、ハードディスクの S.M.A.R.T.機能を使用します。

S.M.A.R.T.機能とは、障害に関するデータをそれぞれのハードディスクが内部で管理し、近い将来故障すると判断した場合は、ハードディスク自身がアラームを通知する機能です。

S.M.A.R.T.機能による診断結果は、[物理デバイス]-[保守情報]で参照できます。



データビューアの[物理デバイス]-[保守情報]

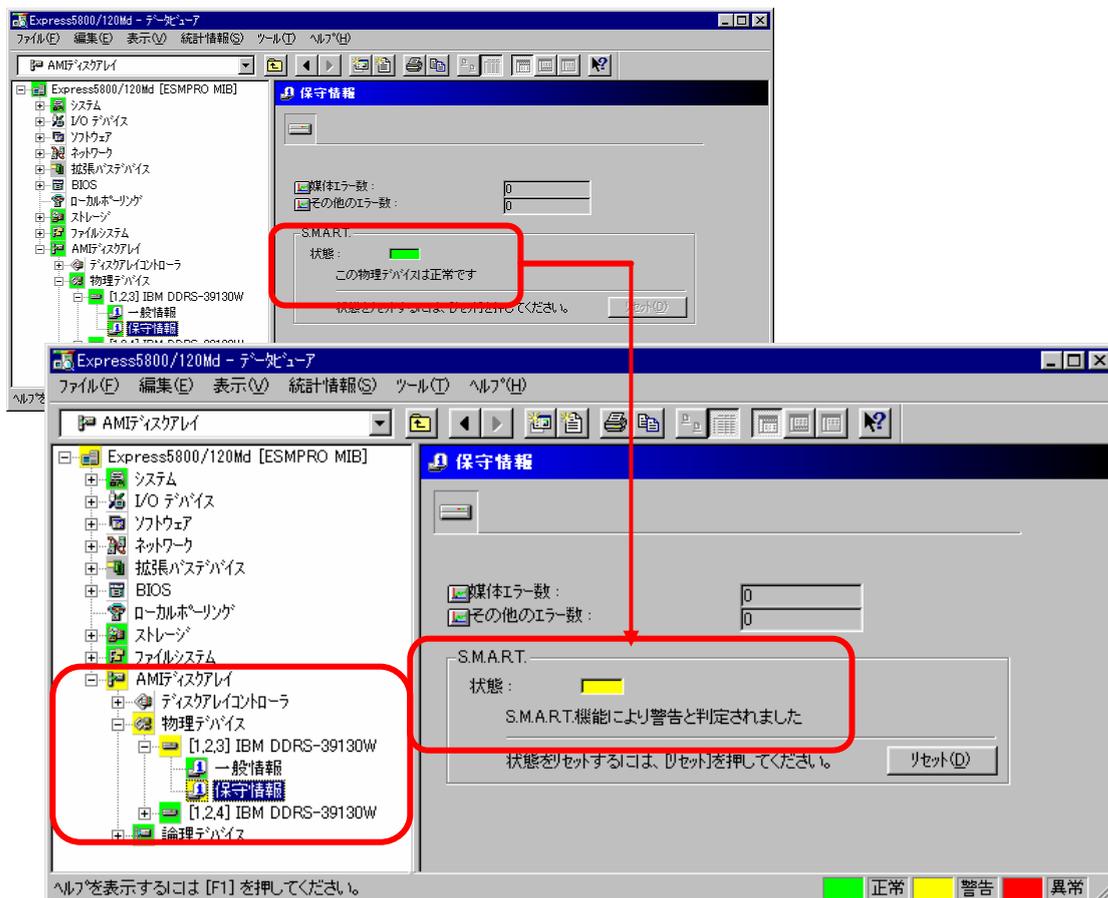
物理デバイス保守情報(ハードディスク)の[状態]項目の LED は、S.M.A.R.T.機能による診断結果を表示します。

-  (正常色) : 正常
-  (警告色) : 警告

2 ハードディスク予防保守機能による障害の確認

ESMPRO/ServerAgent は、S.M.A.R.T.機能による警告を検出するとアラート通報先へ通報し、イベントログへイベントを登録します。

なお、S.M.A.R.T.機能による警告は、アラート通報だけでなくデータビューアでも状態を確認できます。警告を検出すると、ハードディスクの状態色が警告(黄色)に変わります。



2 通報アラート一覧

S.M.A.R.T.機能によりハードディスクの障害を検出した場合、以下のアラートが通報されます。

アラートが通報された場合は、保守員とご相談のうえハードディスクを交換してください。ハードディスクを交換した場合、「ハードディスクの状態リセット」を行う必要があります。「ハードディスクの状態リセット」については、「6.2.2 ハードディスクの交換」を参照してください。

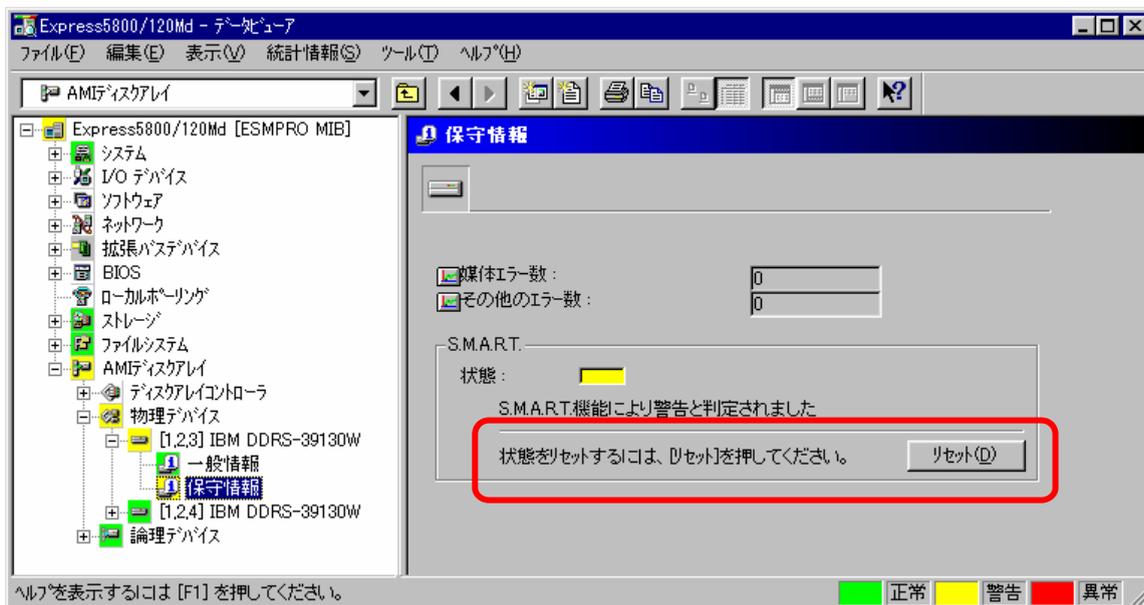
イベントID	レベル	概要	詳細
412	警告	AMI物理デバイス 予防保守エラー	物理デバイス[%1]がS.M.A.R.T.機能の診断によりエラーになりました。 アレイコントローラ番号 %2 SCSI-BUS %3 SCSI-ID %4 ベンダ:%5 モデル:%6 リビジョン:%7

6.2.2 ハードディスクの交換

ハードディスク予防保守機能により障害と通報されたハードディスクを交換した場合、手動でESMPRO/ServerAgentの管理情報をリセットしてください。ESMPRO/ServerAgentの管理情報をリセットしない限り、ESMPRO/ServerManagerのハードディスクの状態は警告のままとなります。

管理情報のリセットは、マネージャ、またはエージェントのコントロールパネルから行います。

? マネージャからのリセット



データビューアの[物理デバイス]? [保守情報]

1. [データビューア]を開きます。
2. [AMI ディスクアレイ] [物理デバイス] のツリーを選択してください。[物理デバイス]のツリーには AMI ディスクアレイシステムに接続しているすべてのハードディスクが表示されています。ハードディスク予防保守機能によるエラーのアラートが通報されたハードディスクのツリーを選択してください (アラート通報メッセージの[詳細]欄に表示されているアドレスのハードディスクを選択してください)。
3. 選択したハードディスクツリーで、[保守情報]ツリーを選択してください。データビューアの右側に選択したハードディスクの情報が表示されます。
4. S.M.A.R.T.の[状態] 項目が警告色(黄色)になっていることが確認できたら、[リセット(D)]ボタンを押してください。
5. 状態リセットには時間がかかる場合があります。しばらく待ち、[状態]項目が正常色(緑色)になることを確認してください。

? エージェントからのリセット



エージェントのコントロールパネル[AMI]

6. [コントロールパネル]を開き[ESMPRO/ServerAgent]を選択してください。
7. [AMI]タブを選択してください。
8. [デバイス]欄で、リセットするハードディスクを選択してください。[デバイス]欄には AMI ディスクアレイシステムに接続しているすべてのハードディスクが表示されます。ハードディスク予防保守機能によるエラーのアラートが通報されたハードディスクのツリーを選択してください（アラート通報メッセージの[詳細]欄に表示されているアドレスのハードディスクを選択してください）。
9. [リセット]ボタンを押してください。
10. リセットが成功すると、「リセット処理が正常に終了しました。」のメッセージが表示されます。
11. [OK] ボタンを押してメッセージダイアログを閉じたあと、コントロールパネルの[OK]ボタンを押してコントロールパネルを閉じてください。

6.3 バックアップバッテリー監視機能

ディスクアレイコントローラ(A)は、コントローラ上にバックアップバッテリーを搭載しています。

バックアップバッテリーによって、サーバの電源断などの障害が発生した場合にデータを保持することが可能となりますが、バッテリーに異常が発生すると障害発生時にデータを消失する可能性があります。

ESMPRO/ServerAgent は、ディスクアレイコントローラ(A)に搭載されたバッテリーの状態を監視し、異常を検出するとアラート通報を行います。

? 通報アラート一覧

バッテリーの異常を検出した場合、以下のアラートが通報されます。

イベントID	レベル	概要	詳細
409	警告	AMIアレイコントローラバッテリー電圧異常	アレイコントローラ%1]のバッテリーモジュールで電圧異常を検出しました。 アレイコントローラ番号:%1
410	警告	AMIアレイコントローラバッテリー充電異常	アレイコントローラ%1]のバッテリーモジュールで充電異常を検出しました。 アレイコントローラ番号:%1
411	異常	AMIアレイコントローラバッテリーモジュール異常	アレイコントローラ%1]のバッテリーモジュールで異常を検出しました。 アレイコントローラ番号:%1



ESMPRO/ServerManager のデータビューアでは、バッテリー状態を参照できません。
また、アラートが通報された場合でも、ESMPRO/ServerManager で表示される「状態」(状態色)は変化しません。
バッテリーに関する情報は、アラートビューアに登録されるイベントを参照して確認してください。

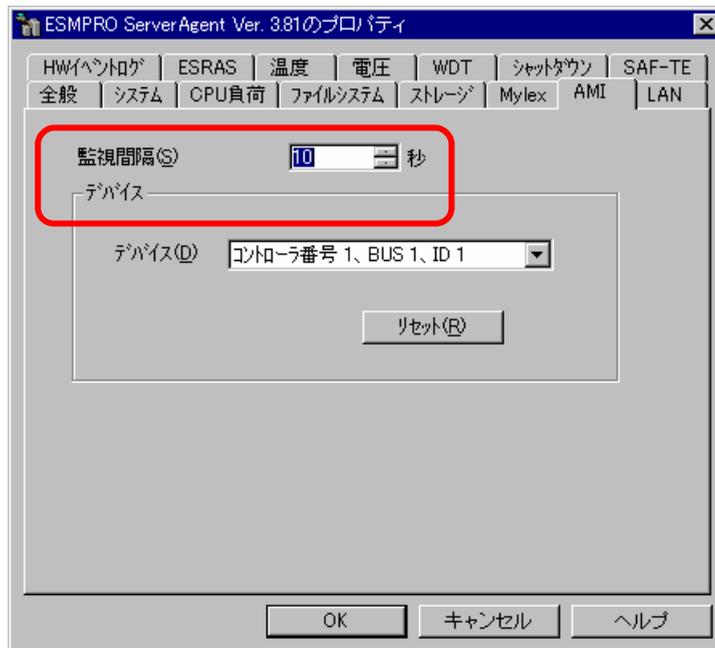
6.4 AMI ディスクアレイシステム監視機能の設定変更

ESMPRO/ServerAgent は、ご利用の環境に合わせて設定を変更できます。

6.4.1 監視間隔の変更

AMI ディスクアレイシステム監視機能の監視間隔は、既定値で 10 秒です。ディスクアレイシステム監視機能の監視間隔は、10 ~ 3,600 秒の範囲で変更できます。

ただし、AMI ディスクアレイシステム監視機能の監視間隔は、基本的に変更しないでください。AMI ディスクアレイシステム監視機能の監視間隔を長くすると、ハードディスクが Fail 状態になった場合の発見が遅れ、データを失う可能性があります。



エージェントのコントロールパネル [AMI]

12. [コントロールパネル]を開き[ESMPRO/ServerAgent]を選択してください。
13. [AMI]タブを選択してください。
14. [監視間隔]に、変更する監視間隔を秒単位で入力してください。
15. [OK]ボタンを押してください。コントロールパネルが閉じられ、設定した監視間隔でAMI ディスクアレイを監視します。

第7章 注意事項

N8103-64 ディスクアレイコントローラを使用する上での注意事項です。インストール作業を行う前に必ずよくお読みください。

PCI Hot Plugについて

該当 OS : Windows 2000、Windows NT 4.0

PCI Hot Plug によるPCIカードの活線挿抜は行えません。PCIカードを交換する場合は、装置の電源を切ってから行ってください。

電源制御について

該当 OS : Windows 2000

本ソフトウェアをご使用の場合、オペレーティングシステムの電源制御機能(休止状態やスタンバイ)は使用できません。Windows のシャットダウンメニューやスリープボタンによる電源制御を実施しないでください。

Power Console Plusをインストールする時の注意

該当 OS : Windows NT4.0 Windows95/98/Me

Windows NT 4.0にPower Console Plusをインストールする場合、事前にWindows NT 4.0 のService Pack 5以降とInternet Explorer 4.01 Service Pack 2以降およびWindows Installer()のインストールが必要です。(Windows95/98/Meに管理PCをインストールする場合にも、Internet Explorer 4.01 ServicePack2以降およびWindows Installer()のインストールが必要です。)

Windows Installerのインストールに関しては『Power Console Plusユーザーズマニュアル』の7ページ「2.サーバのセットアップ」2.2 準備、14ページ「3.管理PCのセットアップ」3.2 準備」を参照してください。

Power Console Plus をアンインストールする時の注意

該当 OS : Windows 2000 Windows NT4.0

Power Console Plus をアンインストールする際に以下のイベントログが登録されることがありますが、システムの動作上問題ありません。

ソース: Service Control Manager
イベントID: 7031
説明: SNMP Service サービスは不正に終了しました。これは1 回発生しています。

ソース: NobleNet Portmapper
イベントID: 0
説明: NobleNet Portmapper error

ダイナミックディスクに対するAdd Capacityについて

該当 OS : Windows 2000

Windows 2000 のダイナミックディスクが存在するバックには、Add Capacity を実施できません。ダイナミックディスクとベーシックディスクは、Windows 2000 のコントロールパネルで、[管理ツール]を起動し、[コンピュー

タの管理]を開き、[ディスクの管理]を選択すると参照できます。

Windows 2000にてインストール後、ボードの位置を変更する場合

該当 OS : Windows 2000

注意 本ディスクアレイコントローラ以外に接続したハードディスクにWindows2000をインストールした場合は、ディスクアレイコントローラの実装スロット位置を変更できません

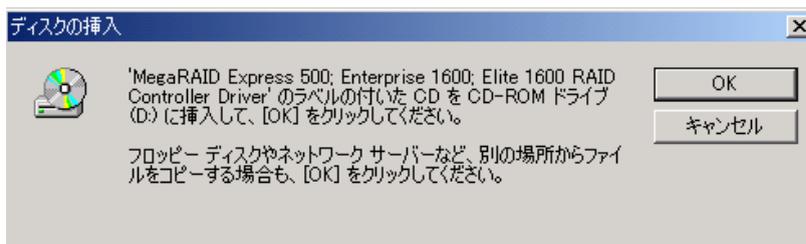
インストール後、ボードの位置を変更した場合に、「新しいハードウェアが見つかりました。」というダイアログボックスからドライバの再インストール要求が行われる場合があります。

このような場合、以下の手順でドライバを再インストールしてください。

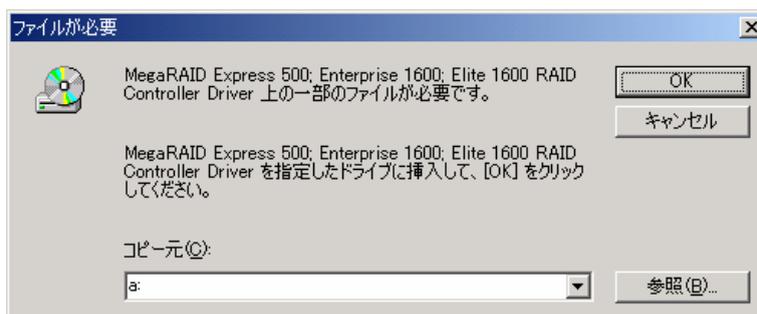
1. 以下のように [デジタル署名が見つかりませんでした] のダイアログボックスが表示されますが、システム動作上問題はありません。 [はい] ボタンをクリックしてください。



2. 下記のように 'ディスクの挿入' (Insert Disk) ダイアログが表示されますので、[OK]をクリックして下さい。



3. 下記のようなダイアログボックスが表示されますので、コピー元に 'a:' と入力して、[OK]をクリックして下さい。



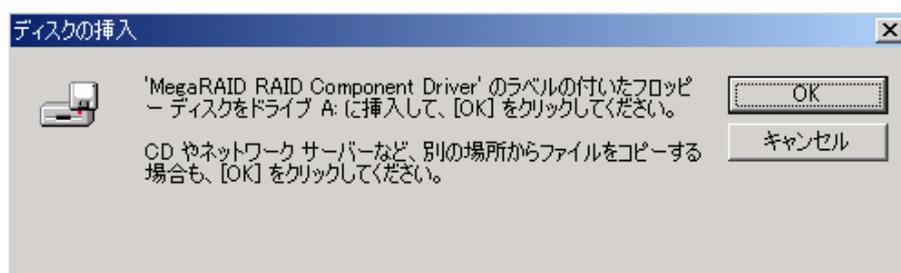
4. ドライバのコピー処理が終了し、下記の 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了 ダイアログボックスが表示されます。



5. 下記のように、再起動を要求されますので『はい』をクリックし、再起動を行ってください。



6. 再起動後、さらに '新しいハードウェアが見つかりました。' というダイアログボックスが表示され、その後、下記の「ディスクの挿入」ダイアログボックスが表示されますので[OK]をクリックして下さい。



7. 下記のようなダイアログボックスが表示されますので、コピー元に "a:" と入力して、[OK]をクリックして下さい。



8. 以下のようなダイアログボックスが表示されます。
(この際、画面が 10 数秒止ったように見える場合がありますが、システム動作上問題ありません。処理が終るまでお待ち下さい。)



9. その後、特に終了のメッセージは出ませんが、以上で作業は終了です。

ESMPRO/ServerManager、ServerAgent

ESMPRO/ServerManager、ServerAgent で AMI ディスクアレイシステムを監視する上での注意事項を説明します。

ハードディスク追加時のデータビューアの表示

AMI ディスクアレイシステムに追加した直後のハードディスクは、データビューアのツリーには表示されません。追加したハードディスクをコンフィグレーションして AMI ディスクアレイシステムに組み込まれた後、データビューアのツリーに表示されるようになります。